

2017年12月19日

フェイスブック活用によるシティプロモーションについて

○松本暁彦議員

続いて、3点目の質問です。フェイスブック活用によるシティプロモーションについてですが、このシティプロモーションという単語にはさまざまな意味合いがあり、一例として地域の魅力を内外に発信し、その地域に人・物・金を呼び込み、地域経済を活性化させる活動という意味もあります。

このシティプロモーションは、人口減の社会において、本市に人・物・金を呼び込むための必要な施策であると思います。実際に、さまざまな自治体が取られ、専門部署がある自治体もございます。

そこで、本市におけるシティプロモーションについて、どうお考えなのか、また何か取られていることがあれば、お聞かせください。

○藤浦雅彦議長

市長公室長。

○山本市長公室長

シティプロモーションについてのご質問にお答えをいたします。

人口減少や少子高齢化が全国的に進んでいる中、各自治体におきまして、イメージや認知度を高め、定住者や来訪者をふやすよう市の施策や魅力などの情報発信に力を入れているところでございます。

本市におきましても、平成26年4月に策定いたしました第5次行政改革実施計画に基づき、本市の魅力を市内外に広く発信することで、市への愛着やふるさとの意識を高めるとともに、多くの人に摂津市を知って、訪れ、住んでいただくことを目指して取り組みを進めているところでございます。

情報発信の充実につきましては、平成27年4月に広報課を新設し、平成28年9月には、広報誌をリニューアルをいたしましたところでございます。

また、同年11月に、市制施行50周年記念といたしまして発行した市勢要覧では、日常の風景や場面における市の魅力を美しい写真で表現いたしましたもので、市民の方々だけでなく全国各地から大きな反響をいただいたところでございます。さらに、来年4月には、ホームページのリニューアルを予定をいたしているところでございます。

市の魅力につきましては、いろいろな部門において存在する可能性がございます。全ての職員が地域特性を捉えまして、市の自慢の掘り起こしや新たな魅力づくりに取り組みを行うことが必要であると考えております。その中で、広報課と各課が連携をいたしまし

て、魅力を発信することがシティプロモーションにつながっていくものと考えております。

○松本暁彦議員

続きまして、フェイスブック活用によるシティプロモーションについての2回目の質問をさせていただきます。

先ほどの答弁にて、シティプロモーションの取り組みについて理解いたしました。私も市勢要覧は市のPRに大きく役立っているのかと思います。

さて、本市におけるシティプロモーションの魅力としては、健都や摂津優品（せつつすぐれもん）が挙げられるかと思います。この魅力を育て、PRし、人・物・金を呼び寄せる、この一連の施策を計画的に行う必要があります。

ところで、シティプロモーションを成功させるに当たり、まず市内外に情報を発信することが重要かと思います。フェイスブックというSNSツールがあり、本市を除く北摂全ての市がこの情報発信ツールを活用しており、本市もこのツールを活用すべきかと思います。このツールの使用の可否等について、これまでの議会において幾度か一般質問があり、検討されているかと思いますが、現在のSNSを使った情報発信の検討状況をお聞かせください。

○藤浦雅彦議長

市長公室長。

○山本市長公室長

フェイスブックとシティプロモーションの関連するご質問にお答えをいたします。随時、更新可能なホームページの利点を生かせるインターネットを通じまして情報発信は、いつでもどこでも情報の受信を可能といたしているところでございます。情報を必要とする人の利便性を向上する手段といたしまして、大変、重要であるというふうな認識をいたしているところでございます。

また、さまざまな種類のソーシャルネットワークサービス、いわゆるSNSが普及している中、多様な方法で情報を発信するということは、発信側といたしまして、より一層多くの方に広く情報を届けやすくなるということも考えております。

SNSを使いました情報発信を行うには、まず、ホームページ自体を職員が情報発信しやすいシステムにしていくことが必要であると考え、現在、リニューアルの作業を進めているところでございます。その中で、フェイスブックも含めた各サービスについて、その特性から有効性を判断し、市として何をどのように活用するのかといった方針を定めてまいりたいと考えております。

○藤浦雅彦議長

松本議員。

○松本暁彦議員

方針を定められるということで、ぜひ、検討をしていただきたい。より多くの方に本市を知ってもらうための情報発信が、シティプロモーションには欠かせません。まずは、ホームページのリニューアルをしっかりとやっていただき、そして、今後、シティプロモーションを広報課と各課でしっかりと連携し、SNSツールの使用方針の策定も含め、計画実行していただければと思います。

以上でこの質問を終わります。